

平成22年6月定例会会議録（第2号）

平成22年6月10日 木曜日 午前10時00分開議

町 田 義 昭 議 長 鈴 木 武 次 副議長

出席議員（18名）

1番	竹 田 博 一	議員	2番	鈴 木 悟 司	議員
3番	我 妻 昇	議員	4番	大 道 寺 信	議員
5番	谷 口 栄 子	議員	6番	蒲 生 光 男	議員
7番	佐々木 謙 二	議員	8番	安 部 隆	議員
9番	渋 谷 佐 輔	議員	10番	高 橋 孝 夫	議員
11番	大 沼 久	議員	12番	藤 原 民 夫	議員
13番	鈴 木 良 雄	議員	14番	小 関 勝 助	議員
15番	鈴 木 武 次	議員	16番	鈴 木 新 助	議員
17番	蒲 生 吉 夫	議員	18番	町 田 義 昭	議員

欠席議員（0名）

+

説明のため出席した者

内 谷 重 治	市 長	新 野 潔	副 市 長
	総務課長兼選挙管		
飯 澤 常 雄	理委員会事務局長	平 英 一	財 政 課 長
遠 藤 健 司	企 画 調 整 課 長	松 木 英 司	税 務 課 長
宇津木 正 紀	市 民 課 長	松 木 幸 嗣	健 康 課 長
小 泉 良 一	福 祉 事 務 所 長	遠 藤 正 明	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長
矢久保 浩	消 防 主 幹	飯 田 武 志	監 査 委 員
加 藤 弘 二	教 育 委 員 長	大 滝 昌 利	教 育 長
遠 藤 誠 一	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	鈴 木 榮 一	農 業 委 員 会 会 長
那 須 宗 一	農 林 課 長	齋 藤 理 喜 夫	商 工 観 光 課 長
浅 野 敏 明	建 設 課 長	鈴 木 一 則	管 理 課 長
中 井 晃	文 化 生 涯 学 習 課 長	佐 藤 孝 博	生 涯 ス ポー ツ 課 長
鈴 木 要 一 郎	上 下 水 道 課 長	齋 藤 環 樹	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長
青 木 邦 彦	監 査 委 員 事 務 局 長	渡 部 政 明	農 業 委 員 会 事 務 局 長

+

## 事務局職員出席者

松本弘	議会事務局長	小関浩幸	補	佐
高橋由美	主 任	塚田知広	主 任	

## 議事日程（第2号）

平成22年6月10日 木曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 6番 蒲生光男 議員
  - 14番 小関勝助 議員
  - 10番 高橋孝夫 議員
  - 17番 蒲生吉夫 議員
  - 5番 谷口栄子 議員

## 本日の会議に付した事件

議事日程（第2号）に同じ

+

+

+

## 開 議

○町田義昭議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

○町田義昭議長 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は、答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、上着の着脱はご自由に願います。

それでは、順次ご指名いたします。

### 蒲生光男議員の質問

○町田義昭議長 順位1番、議席番号6番、蒲生光男議員。

(6番蒲生光男議員登壇)

○6番 蒲生光男議員 おはようございます。

私の質問事項は3点でございます。市長以下、当局の皆様方には明瞭的確なご答弁をお願い申し上げます。

最初の質問は、長井市財政の見通しであります。

6月定例議会に繰越明許費として約5億8,000万円が計上されておりますが、繰越明許費、つまり債務負担行為が最初から複数年度にわたるものであるのに対し、経費の性質や予算成立後の何らかの理由でその年度内に支出が終わらない見込みがあるものについて、議会の議決を得て翌年度に繰り越して使用できるようにする予算をいいます。通常は、補正予算の形で議会に提案されております。

一昨年秋のリーマンショック以来、長井市にとって相次ぐ交付金が来たことにより、今までなかなかできなかった学校の耐震化などの事業ができるようになり、長井小学校第3校舎の耐震化工事、総額3億7,809万1,000円が報告第2号として上程されております。国、県から1億8,867万5,000円が交付されるもので、長井市単独ではなかなかできない小学校の耐震化、今後の各学校の耐震化が進むことは、校舎という公的な施設の改修が進むことは大変すばらしいし、ありがたいことだと思っております。

今後の耐震化計画を見ますと、長井小学校第3校舎は22年工事が実施されますが、長井小学校体育館、致芳小学校の校舎及び体育館が22年実施設計し、23年工事予定、西根小体育館は今年実施設計で24年工事の計画という内容でございます。いずれも建築年からいうと、古くは昭和45年、新しくても54年の建設のもので、子供たちが安心して学べる場所、いざというときの地区民の避難場所の性格を考えると、急がなければならないと私は思います。

ことは、そういうことで財政的なゆとりもあるようですが、次年度以降について財政課の財政の中期展望でいうと、必ずしも楽観できない数字が並んでおります。この中期展望について財政課長から、どのような根拠があってこの計画になったのか、また長井市の財政の全国的なレベルとして財政指標でいえばどの位置にあるのかについてご説明をお願いいたします。